

# 有宵会だより

第58号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-64

## 九星と易断による

### 八月・九月の運勢

気学では申月八月

九月七日(立秋)節入り

4	9	2
3	5	7
8	1	6

破 天道

気学では西九月

九月七日(白露)節入り

3	8	1
2	4	6
7	9	5

破 天道



### 一 白水星の人の運勢

八月筮一火沢際の上九  
九月筮一地天泰の六五

先を急がず時機を待つのが賢明。身近な問題を軽くみないで慎重に、家庭や住居計画は資金の不調、仕事は停滞感あり手を緩めず。金銭は甘い口に棘、情愛は仲直りが吉。夏風邪、寝不足、頭痛等。九月は安泰、手を抜けず本業に専念、自営は一歩伸びるとき。家族関係深い喜び、知人とは信頼の糸で結ばれる。金運は貯金に回す。夏疲れの胃腸、足腰の筋、皮膚。

### 二 黒土星の人の運勢

八月筮一火山旅の九四  
九月筮一水火既済の九三

何かと身辺の用事に動かされる。家庭のメモ事軽く処理、仕事は結果で決まるが日程が延びる。相手に合わせる交際術高額品の連られ買いありそう。見学や小旅行楽しく。視力、歯、胃腸に優しく。

九月に入ると運氣上昇でも不利益の月破が付く。予定の変更、知人との誤解や意見を抑えられるが慎重さで対処。家庭は復旧が良く金運堅実に。気疲れ神経、関節、気管等。

### 三 碧木星の人の運勢

八月筮一雷水解の初六  
九月筮一水地比の九五

一歩前進で問題解決、計画案の実施、チャンスあれば前進するなど活気含み。職に関して経験と新アイデアを打ち出す効果。愛情を深めたり家庭は中旬良好、金銭収集吉。過食と胃もたれ外食摂生。九月は順調運コースへ乗せていく。前月の問題継続が良く新規交際は慎重に。安請け合いを避け欲心は控え目で安心。批判や噂など気にせず。風邪と気管、聴覚、歯病等。

### 四 緑木星の人の運勢

八月筮一水火既済の九五  
九月筮一乾为天の初九

日頃の努力が報われ成

果が上がる。誰にでも気持良く接し信用が高まる。仕事は手際よく進み、私事の懸案問題の処理、情報管理は慎重、交際面は中旬良いが財布締める。胃腸疲れ、腰痛、湿疹等。九月は中宮に入り多忙、公私に変化が出たりするので慎重に判断。周囲の気配りを忘れずに無理な頼まれ事は断わるのが安全。家族は団樂の喜び。血圧血行、視力、過労等。

### 五 黄土星の人の運勢

八月筮一巽為風の六四  
九月筮一天山遊の初六

運氣は停滞気味、諸事に長引く問題は休み、必要なことに手を付ける。柔軟な交際は外からの協力者を得て吉。仕事待機が続き金銭の動きが少ない。家事円満に処して吉。気管、胃腸疲れ、関節等。九月は小を捨て大を取り、長期の志望を叶えていく。予定の中断、人情は流れやすく下旬に訪問客あり、日常は焦らずに悠然と気分の転換が賢い。風邪、下痢、足腰と膝等。

### 六 白金星の人の運勢

八月筮一水沢節の九二  
九月筮一雷山小過の九三

目標に向け気力一杯に進めてみる。自己過信にならず謙虚さ忘れず、下旬頃から積み上げた実力が表われる。学習面・資格人脈広げてレベルアップ。ストレスと頭痛、腹部等。九月は地道な努力で評価、自分のベースを守ることで安定感。夏バテの時機なので上手な休養で保つ。予想外の交際と外出での浪費に用心、気楽な食歩きや趣味楽しむ。口腔と歯、頭痛、腰膝等。

### 七 赤金星の人の運勢

八月筮一地天泰の初九  
九月筮一震為雷の初九

表面は安泰でも内心は気苦労が多い。初め良ければ終り良しとする。仕事からみ問題は慎重に処理。休日は目の保養や健康の入浴などが楽しみ。祝儀や贈答の喜びあり。風邪とのど、歯の手当て。九月は公私に多事多用で忙しい。不用意な口出しは災いのもと。交渉事は負けるが勝ちのつもりが利口。貯蓄方針でムダを省くなど生活改善を。関節、筋肉、血圧と頭痛。

### 八 白土星の人の運勢

八月筮一地風升の六四

九月筮一沢水困の九五  
真剣に取組む問題が続く、自己流の判断に走らず調和と誠意を尽くして收拾を図る。親戚や知人との交際は冷静に。財産や相続など将来に関わる問題は今後の研究を待つ。口腔とのど、関節、打撲。九月は培った実績を周囲から評価される。能力を充分に発揮する喜び。仕事面で企画やアイデアを活かす、先見の明となる学習や研鑽が望ましい。視力や歯、循環器系等。

### 九 紫火星の人の運勢

八月筮一山天大畜の九三  
九月筮一天雷无妄の六二

順調なペースです。暑気中でも体調管理で心身の爽快感を得る。公事の優先と対人面は本筋を通すのがよく、新知識と教養を深めたり自立精神けじめをつける方針が吉。循環器、消化器、足元等。九月は現状のままでも平穩を保つ。大きく羽撃かないで家庭に注目、小さな愛情に深い意味含む上に立つより支える立場で臨む、地味目で気遣いがよければ無難に過ごせます。疲労回復に食事と安眠を。

福田 有宵

五月有宵会報告

半田 晴詠



五月十八日(土) 勤労福祉会館ブルミエにて、NPO法人岳易館・有宵会の定例会が開催されました。佐藤宗眩先生の司会進行のもと、第一部は福田有宵先生による「有宵会だより」のご説明と「気学盤からの月運」。第二部は、日向山仏舎利平和宝塔主管であられま

第一部「六月・七月の月運」

福田 有宵先生

六月は暦の二十四節気の芒種である五日の節入りで午月。七月は、小暑の七日から末月になります。

核廃絶を祈り続けて」  
功刀 貞如上人様



六月は、午の对冲子の坎宮三碧が月破。七月は、未の对冲艮宮九紫が月破になりますので、三碧と九紫は注意することです。又、六月は七赤中宮で五黄の对冲兌宮九紫が暗剣殺。七月は六白中宮で乾宮七赤に暗剣殺。中宮の星が周りの星にどのような影響を与えるか、それぞれの九星のポイントを掴むことが大切です。九星の遁甲による方位も大切で、六月の東五黄殺、西の暗剣殺、北の月破。七月の東南五黄殺、西北の暗剣殺、北東の月破などへの行動は注意です。例えば、七月の北東の月破は変化を起こす方位。又、西北の暗剣殺は宮の象意から交通事故等の暗示もあり、それぞれの宮と遁甲した九星の象意で判断してください。月運は、星の遁甲により一ヶ月で変わってゆくので、身体・精神・運氣・方位も変化があります。七月は、小暑から節入りで暑くなりませんが、旧暦と新暦の違いはどういうものか、気になるところです。研究してください。

第二部「世界平和」

研究してください。

(1) 七面山からの御来光

七面山からの御来光は、春秋の彼岸の中日だけで年二回しか見られない有り難い御来光です。七面山の頂上には七面大明神をお祀りしてあります。身延山の守護神です。日蓮上人が最後にお過ごしになられたお山で、日蓮上人のお墓があり、三方を山に囲まれ南だけが開けていて上人の故郷房州が見えます。上人は、房州が望める身延山をお気に入りになり、ご両親の墓を拝み偲んでいたそう

です。日蓮上人が高座石でご説法をされていました時、毎日のようにこの土地には似合わない綺麗なご婦人がおり、不思議に思いどなたなのかと尋ねたら、「願わくは一滴の水を下さい」と言うので与えたとこころ、龍体に変じ七面山に住んでいる七面天女で、身延山を守り、日蓮上人を守り、法華経を修行する人々を守りますと言って、山の上に去ったそうです。その後、一五九六年身延山第十八世日賢上人が七面大明神の宝殿を建立されました。七面大明神は、天女の姿で腹が丸くくみ、太陽のように拝めるので日の神(太陽の神)と呼んでいます。日蓮上人は、お母様のお腹に、蓮華に乗った太陽が入った夢を見た時に生まれたと言われ、幼名を善日磨と名付けられ成長し、お坊さんになった時は善日丸の「日」と、出家した時の蓮長の名から「蓮」をとって、日蓮のように照らした。日月のように照らし世の中を明るくしたい、日月のように人々に希望を与えて生きたい、常に太陽を拝み、蓮花のよう

に清く生きたいと願いました。この日蓮上人の志に習い、七面山の御来光を拝む会を発足し、四十年を迎え今年も拝むことができました。二十九日には大雪が降りましたが、三十一日の大雨で雪も解けて山頂まで登ることができ、大勢の方々が登りました。日向山仏舎利平和宝塔二十五周年大祭の十月二十八日も、日月天のご守護を頂き雨が止み無事大祭を済ませることができました。御来光を拝んでいると、いろいろな悩みが無くなり天地の中に生かされているという有り難さを感じることができそうです。皆様も是非一度七面大明神をお参りください。

(2) 世界平和・核廃絶を祈る唱題運動

四月二十八日は、日蓮上人が立教開宗(一二五三年)をされた日です。で、祈りの日としました。この日にいろいろな祈りの活動をします。八月六日は広島に原爆を落とされた日ですので、前日に記念公園の供養塔前で一日断食をしながら平和と核廃絶の祈りをし、広島市内を身延山布教隊の学

生達と平和を祈る行脚をしてきました。平成十四年四月二十八日には、日向山仏舎利平和塔で世界平和を祈る唱題会を始め、今年で十年お祈りをしてきています。祈りと供養は一体、亡くなられた方の供養をして目には見えない力を借りて生きている者が祈りをします。日蓮上人が目の前に展開する混乱の世を見据え、仏に問うて著したのが「立正安国論」で、大災害を傍観者としてではなく国家として執るべき道を正し理想的世界を望見する信仰者としての書で、現実を厳しく糾弾する言葉が語られています。正しい仏教が広まらないとその国家はやがて滅亡に瀕すると預言されていて、法華経の信仰によつて衰えを知らぬ理想郷を現出させようと説いています。

(3) 世界万国戦争犠牲者万霊供養塔の建立

今の若い人々の為に、犠牲になつてくれた人達への供養に塔婆供養をしています。ご先祖を供養することは大切で、先祖を粗末にする家は滅び、尊ぶ家は栄えています。

お墓がいつも綺麗で花の絶えない墓は大きくなくても子孫や会社が栄えています。墓は大きくしなくても、墓の墓を大切にしていることが良いので

世界万国戦争犠牲者万霊供養塔は、平成十四年富士山の見える所に、桜色の石で大きな供養塔を建立しました。日蓮上人の教えは、「世界平和・立正安国論」です。その教えが北京の北の西夏のお寺に残されていますが自由に入ることができません。大同という炭鉱の町では、中国人を集めて石炭を掘らせ、働けなくなると廃坑に埋めたと言う酷い話が残されています。その犠牲者の成仏を願って、骨のある場所に供養塔を建立しました。

(4) 仏陀ホール建立 (平成十七年)

仏陀ホールの前には八体の龍の柱があり、その上に(太陽と月)の球体日月天を乗せました。塩・お酒で清め、仏の供えには小豆がつきものです。お酒は八体の龍に撒き籠の口から入れ池にも撒きました。落慶式の日は朝から雨でしたが、始まる

前には青空になり太陽と月が同時に輝きました。日月天が守ってくれたのです。神仏は私達の真心を受けとっておられますから、世界平和核廃絶を祈りました。この仏陀ホール建立にあたり、ご尽力を頂いた方があります。檀家の方で石材会社をなさっています。その方のお父様は大変な苦勞人です。その教えを引き継ぎ努力し家業を繁盛させました。お父様の三つの教えです。一、人を喜ばすことを常に考えること。自分の仕事だけでなく気がついた

二、陰日向なく働くこと。人が見ていなくても、お天道様は必ず見ている。三、自分が楽しようと思わないで他人より働くこと。余分に働いたことが自分に返ってくる。

(5) 祈りの行脚 (平成十三年、二十二年)

広島・長崎の各山、各寺へ春秋年二回、唱題会のメンバーと祈りの行脚をして参りました。国連NP 再検討会議は、四年に一回、世界中から集まります。来年もありますので参加させて頂く予定であります。ここでは

二ユーヨーク六番街を先頭に立ち核廃絶の行脚をします。

(6) 平和の鐘の造立

七月二十九日私の誕生日には、富士山にお参りします。富士山の五合五尺の所に経ヶ岳があり、日蓮上人をお祀りしたお堂があります。日蓮上人は、三十九歳の時に北条時頼に「立正安国論」を上呈し、その後鎌倉幕府の宗教政策により佐渡流罪に処されましたが、四十二歳の時に赦免され鎌倉に落ちつきました。その後、富士吉田出身の弟子に案内され、五合五尺は天地の境の所この天地の境の所へ、法華経の経本と「立正安国論」を埋めました。そこが経ヶ岳と呼ばれるようになり、日蓮上人のお堂があり、今でも四十二歳の厄除け信仰を集めています。現在は身延山が管理しております。

私は、二十五歳で住職となり、五十年の記念に息子に譲りました。これを正式に法灯継承と言います。法灯継承後にやり残した事はないだろうかと考え、鐘樓堂の造立を思い、日向山に登り富士山

が真前に見える所に、平和の鐘を建てようと心に湧くものがありました。皆様からの浄財で世界が日本が平和でありますように。そして、皆様が天命を全うできるように、と平和の鐘を造立しました。

(7) 世界平和を祈る理念

一、いのち、世界平和の祈りは、私達ひとりひとりが、ご本仏から頂いた尊い「いのち」に目覚めて天命を知り、世のため人のために、世界平和のために、人事を尽くして生きられるように願う祈りである。

一、仏国土の顕現、世界平和の祈りは、私達の住所・地球国土の平安と美化を願う祈りである。

一、調和、共生、平和、世界平和の祈りは、私達が宇宙の万物と調和して共に生き、共に栄えて平和で幸せになることを願う祈りである。



福田先生からのご質問と功刀貞如上人様のお答

(一) 仏教の存在とは 天寿を全うして幸福になる為の教えです。

(二) 日蓮大聖人様の立教理念として 世界平和・国の安泰・人々が幸福である為には、国が安泰でなければと「立正安国論」を唱えたのです。

(三) 大聖人のエピソードとして 「日蓮上人は、信仰しているのに鳥流しや首を切られそうになった法難にあつたのは何故なのか。」と、去って行った人達もいました。日蓮上人は今世の現象は過去の罪障であるから、信仰をすればどんな事も消えて良くなっていくと、ご自分の体験から出たことを話したと言われています。

(四) 法華経について 菩薩の教えで、「自分だけの人は本当の幸福にはなれない。自分の為、他人の為に一緒に成仏するようにすることです。」

(五) 信仰について 信仰は生きるエネルギーである。している人と信仰をしていない人の違い

は、やってみれば解ること、生きる力が湧いてくることです。

以上、功刀貞如御上人様のご講演でした。

第三部 仏教について

福田 有宵先生

一、仏教の存在、 仏教界は、現在十三宗・六十派位あり、様々な姿が出てきています。その仏縁とどこで合うかです。

二、日蓮大聖人様の立教理念、 日蓮宗では、お坊さんを上人(しょうにん)と呼び、日蓮上人は、日蓮大聖人と呼ばれています。立教の精神とは、当時釈迦が入滅後、仏教がすたれた時代(平安末から鎌倉時代)の末法の時代に阿弥陀様に手を合わせ、戦乱の世を救って頂きたいと浄土の世界を求めたのです。このように時代の求めるものがありました。現代は心が病む時、人の心、精神を救ってもらいたいと信仰をすることが多いものです。

三、大聖人のエピソード、 法難を四回受けても奇跡的に助かっています。生きるか死ぬか命をかけた

この受難は法華経を広める為の法難として受け止めて信仰を広めていきました。易学を学ぶのは、知恵を用いることで神道、仏道などを学び、それぞれの知恵でアドバイスをするためです。世の中の例え話は、法華経の中から出されていますので、良く学ばれると良いでしょう。

**四、信仰について**

理論より身体を張って信じること、行をする。とて、行信一如とあちこち迷わずに、行信一如により真の仏縁が生まれるのです。仏教本(大法論)の五月号に観音経があります。宗教総合誌「じべた」など、仏教方面を学びたい方には良い本です。神道のことも書かれていますし、仏縁を繋げて頂くことができますので是非お読みください。

福田先生のお言葉「その仏縁とどこで合うかで」は現在禅宗で永平寺にて何度か参籠もし、仏縁を頂いておりますが、この度書記をさせて頂くにあたり、「大法論」を拝読し、初めて日蓮宗の開祖日蓮大聖人の教えに感動

しました。「大法論」の中から抜粋し、稚拙ですがまとめて記載します。

日蓮上人の願い「希望を持つて現世を生き抜く」ということ。しかし、現世を生きるということとは限定された「現世」ということではなく、凝縮された「今」という一瞬の時間、無限の過去と無限の未来に連続している。現世を生き抜くということとは、それらが包含された「今本時」という絶対時間のなかにある自己を見つめ、その全容を背負って果敢に生きるということ

とです。又、日蓮大聖人の「希望を持つて、現世を生き抜く」という願いは、揺れ動く社会の中で必死に生きる祈りそのもので、それは自己に限定されたものでなく、人々と苦闘し希望の持てる環境作りをめざして行くなかで追求されていったもの。自然と格闘し、自然と自然の脅威を受け止めなければならぬ。絶えず変化する現実。その中であつて「生きる希望」を確かめて生きる生き方の指針は時代が変わっても、私達への大きな導きを示しています。「立正

安国論」の終わりの部分に、「苦を分かちあつて至高の精神を求めよう」という、祈りの文章「汝、早く信仰の寸志を改めて速やかに実乗の一善に帰せよ。然れば三界は皆仏国なり。仏国それ衰えんや。十方はことごとく宝土なり。宝土なんぞ壊れんや。国に衰微なく、土に破壊なくんば、身はこれ安全にして心はこれ禅定ならん。」

日蓮大聖人の言う「国」は、心を大切にして生きる姿。ちなみに「立正安国論」に誌された、

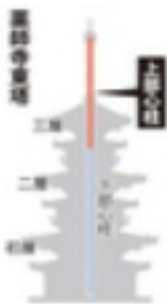
「**同**」は、クニガマエの中に『民』という文字です。」という文面があり、深く感動致しここに引用させて頂きました。

功刀貞如御上人様には、長時間のご講演、福田有宵先生には解りやすいご教授を頂き、誠に有難うございました。 **半田記**



**薬師寺東塔 改修工事**

先日、大川先生から新史料の法相宗伝来肉舍利縁起の印刷をいただき興味湧いてきましたので、後学のため転載しご参考にしたいと存じます。地鎮祭のとき地神・地霊の祀り事を執るわけですが、そのかわりがわかりやすくと神妙な世界を知ることができでしょうか奥深いものです。

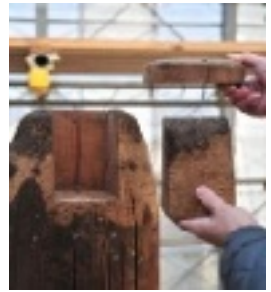


**薬師寺** 奈良市にある法相宗の大本山南部七大寺のひとつ。天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願し、天皇没後の文武天皇2年(698年)に藤原京に完成、平城遷都に伴い現在の地に移転。たびたび火災で諸堂を失ったが、昭和51年(1976年)に金堂、昭和55年に西塔が再建、東塔は創建当時の遺構。又薬師三尊像、聖観音菩薩立像、吉祥天画像、仏足石及び仏足石歌碑(いづれも国

宝)など蔵する。仏舍利地鎮法 釈迦の遺骨を納める。堂塔を建立するとき土台石を置く前に、工事の無事を祈つて地神を本尊として修する法。



**鎮め物** 地鎮祭のとき、土地の神を鎮めるために地中に埋めるもの。昔は人形、鏡、剣、矛などを埋めたものです。最近では水晶その他の貴石を埋設する方法が採用されており。



**福田 有宵** 奈良市西ノ京町の薬師寺東塔(国宝)の解体修理で、心柱の先端に埋め込まれた木箱から江戸時代の舍利容器が見つかり、同寺が7日、発表した。

中の舍利は玄奘三蔵がインドから伝えた可能性があるという。

心柱の先端を幅9センチ、高さ15センチに切り取り、白い布に包んだ木箱を納めていた。木箱の墨書などから、明治時代に心柱を加工して納めたと考えられる。

舍利容器は高さ約10センチの木製で、中の舍利が見えるよう、水晶の板がはめられている。

明和4(1767)年に書かれた「法相宗伝来肉舍利縁起」によると、玄奘三蔵はインドから赤い舍利を持ち帰り、著者の僧、基辨(きべん)に伝わった。

今回の舍利容器は中に赤い舍利が見え、基辨が伝来品を納めた可能性があるという。

東塔の心礎には舍利を納める穴がなく、奈良時代の創建当初は西塔に舍利を納めたと推定できる。

西塔は室町時代に焼失。奈良国立博物館の内藤栄・学芸部長補佐は「東塔に舍利を納めたという強い願いが薬師寺にあり、玄奘三蔵以来の由緒のある舍利が選ばれたのではないか」と話している。

舍利容器は来年3月1日から20日（月曜除く）まで、東塔初層で公開される。

心柱に納入された木箱は、昭和27年の修理工事でも報告されていた。

奈良新聞より



認知症

黒江 真帆



最近では、よく耳にする「認知症」という言葉。今更ですが、「認知症」とは正式な病名ではないことを御存知でしたか？「認知症」とは「病気の状態を示す総称。病名であれば、アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症・レビー小体型認知症など。WHO（世界保健機構）の「認知症」の定義とは

「脳疾患による症候群であり、通常は慢性あるいは進行性で、記憶・見当識・理解・計算・学習能力・言語・判断を含む多数の高次皮質機能障害を示す。」

意識の混濁はない…とあります。「認知症」の原因となる病気は研究者により異なり、分類の仕方もさまざまです。代表的なのは、「アルツハイマー型」が大半を占めていると言われていますが、

1990年代以前は、「レビー小体型」も含まれていたかもしれないといわれています。私が、その都度お話しするさえに「個人差」は大きい！とお伝えします

が、「アルツハイマー型」の進行は、数年から20年程度と個人により状況が異なります。また「脳血管性」においては当然ですが、脳梗塞など脳血管障害の後遺症として発症する場合です。失語などの言語障害だけでなく身体麻痺もあるかもしれません。

そして何よりも、ある日突然！その時を境に出

来なくなってしまうことがある訳です。

祖母の場合が、そうでした。言語は少しづつ回復の兆し、でもその日から20年余り右半身麻痺は残念ながら治りませんでした。

私の、認知症の方とのコミュニケーションは誰にでも当てはまるものではないでしょう。

前期 中期、そして次回後期のお話をお伝えしたいと思っています。この体験談は、母との生活から学んだことを少しでも参考になればと思います。でもお話ししております。でも母の頃は、「認知症」の検査法などが発展途上と言っても過言ではありませんでした。

そして不思議なことに、母の脳は差ほど萎縮もしていなかったことを覚えていました。

その時の先生が、こんなに早く長寿時代が到来するとは思わず脳の研究が間に合わないんだ！と言った言葉が印象的で、今も忘れられません。確かに、こんなに人類が長生きしたことは今だから無いのですから…。私が、この時期を過ご

したのは…6年間位だったでしょうか？

たぶん母の胃癌が見つかる前からでした。お医者さんに「認知症があるの」で手術はもとより術前検査を超えるのも大変だと思います。

と説明を聞き、何度も相談を繰り返したのを覚えていています。採血を含め通常では単純な検査である心電図・レントゲン・エコー検査でも 息を止めて！もできず、内視鏡・CTなどは同伴できませんでした。MRIは同室できず、さぞ不安だったと思います。

点滴をしていても 目を離したときに管を抜いてしまったり…でもイヤことも沢山ありました。手術の翌日 昨日は大変だったね！と、先生の言葉がけに、手術したことも忘れていたり…

その甲斐あって、術後の回復は早かったみたいです。この頃になると私もチョットのコトでは驚かず、以外にも楽しい時間が多くなりました。

脈絡もない話も笑って会話したり、まるで漫画みたいな日々…確かに、コミュニケーションと言

えるのかはわかりませんが「言葉」言語の力を借りずに「気持ちや思いを受け取る」ことが出来ていたと私は感じていました。

そして、ココからがポイントです。言葉ではなく「表情・態度・空気み」たいなものを察する能力を獲得したのかもしれない？！

認知症はかなり進行していましたが、今迄より母の「五感あるいは五官」は進歩したみたいです。

認知症の症状の1つに、自分が嫌な体験は覚えていて、と聞いたことがあります。

自分が前に信用できない！と感じた人には 手を出されても決して手を繋ごうとはしなかったり、まるで、自分の命を託せる人だ！という安心感とでも言う「本能」が研ぎ澄まされた感じがありません。

また、私の表情などから察することも多くなりました！当然ですがニコニコしていると、母はとて嬉しいうように穏やかでした。反対に、私が余り具合が良くない時には頭の撫でてくれたり…。

誰かと話しをしていても 何となく自分のことを話しているのは理解していたみたい？

認知症の後期では、食べ物や飲み物など解らないことだらけですよ。でも、症状がかなり進行し日常のコトが出来ないからといって、あなぐれませんよ！一種の「カ」が働く」ので、当然、本人が嫌がるようなコトはNG。

やっぱり、認知症は頭の病。心は壊れてしまっただ訳ではないのです。自分に置き換えれば、誰もが最後まで「人格は尊重」してもらいたいじゃないですか？

「ゆずり葉とは…」『ゆずり葉』では「介護をなさっている方々」に少しでもイヤ意味の「手抜きや息抜き」に役立つかもしれないお話ができれば…と考えています。

私は父を20代で亡くし母の介護も終わってしまいましたが、情けないのですが今やっと当時の日々を振り返ることが出来るようになりました。「介護」が何故「ゆずり

葉』?と思われるかもし  
れません。

父が発病して10年、母との介護生活12年間、私なりに頑張ったつもりです。でも共に私が体調を崩し、そこから父も母も急降下してしまい「もういいから」と声が聞こえたかのように亡くなりました。不思議と浮かぶのが『ゆずり葉』の詩だったので。あの平明温雅な詩風で知られる明治生まれの詩人、河井 醉茗（かわい すいめい）氏『ゆずり葉』（花鎮抄より）でした。  
ご存知の通り『ゆずり葉』は家が代々続くようお正月のお飾りにも目にする縁起ものです。若葉の育成を待ち古い葉は譲るかのように落葉してゆく様子が名前の由来です。もちろん「介護をうけられていく方々」の気持ちには私には解りません。一概に介護といっても対象となる相手は様々で、年齢の個人差は大きく抱えている病気も色々といえるでしょう。そして介護の拠点も事情により異なります。  
でも「介護をなさっている人達」の種々な気持ち

ちは少し理解できるかも  
しれません。

私の些細な体験から「介護する側」に少し「余裕」ができる、空気が伝染するかのよう「介護される側」の「調子」も良くなりました。  
認知症という病気の付き合い方や在宅での介護食の軽減法等々お伝えできればと考えています。

黒江 真帆

九月にご講演をいただく、豊山勝麗先生



をご紹介します。現在「池袋の母」として活躍中、

各種占法の中から特別な秘法を用いてご指導していますので、その一部の内容について事前にお知らせします。実占家の見事な判断法に期待がかかります。

福田記

出生年の命卦推算法

豊山勝麗

一、本命卦気 九星気字を用いる。人間社会の生活に反映し、吉凶禍福を生じる。

二、本命磁性卦気 磁場感立を用いる。

睡眠時脚部、机の顔方向。厨房ガスコンロ方向（主婦は特別重要）体が悪い時、子宮膀胱に熱を与えるので悪化する。磁性卦気を用いると新陳代謝が増加、血液循環の旺盛、脳神経、意思力、思考力良くなる。相逆は不良。

位置 静 陰 方向

後天の気動陽

公式 西暦出生年・一九〇一年?

例、一九三九年・一九〇一年・二〇一八年

宮住十年一格、十年不足は一格一年

男命兌宮を起点に時計の逆回り、答兌命

兌命十、乾命二十、中宮二十一、巽命二十二、震命二十三、坤命二十四、坎命二十五、離命二十六、艮命二十七、兌命二十八

女命長命を起点に時計の順回り、答艮命

艮命十、離命二十、坎命二十一、坤命二十二、震命二十三、巽命二十四、中宮二十五、乾命二十六、兌命二十七、艮命二十八

中宮の時は男・坤命（陰土）陰柔の気、大地の土、静、包容性強い。

女・艮命（陽土）陽剛の気、高山の土、動。

A組 震 後天方位 東

吉方 後天方位 南吉方

離 後天方位 東南吉方

巽 後天方位 北吉方

B組 乾 後天方位 西

北吉方 後天方位 西南吉方

坤 後天方位 東北吉方

兌 後天方位 西吉方

先天卦気属性論（後天八卦主方位）

陽卦・乾父 震長男 艮少男 坎中男 陰卦・坤母 巽長女 離中女 兌少女

男女宮位中宮五黃坤艮土出来、各自互位

陽変陰。艮は陰変、女に所属。

陰変陽。坤は陽変、男に所属。



NPO通信

賛助金として左記の方々からご寄附を頂戴しました。有難うございました。（敬称略・順不同・複数回ご寄附の方は重複記載）  
大澤瑤扇・八川林加・匿名・龍妹・半田晴詠・吉田侑加・前野佑林・白土八重子・浅野永莉・森千紗・牛込由美子・有峰会（十二名）・野路さくら・龍妹・半田晴詠・高橋富貴子・尾高聡子・宮崎民子・岩崎紀子・八川林加・大沢京子・小沼麗華・手塚唯次・濱野延珠・長澤光裕・今中陽子

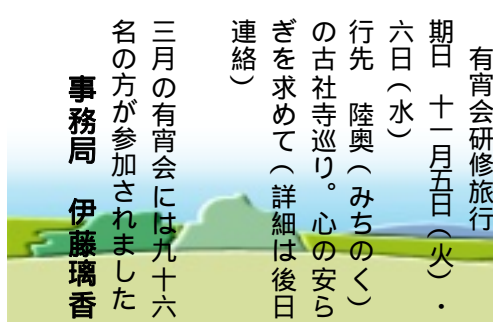
事務局



事務局だより

次回の例会  
日時 九月二十八日（土）午後一時十五分より  
場所「勤労福祉会館プルミエ」（終了後懇親会を予定）  
講演  
「東洋占術秘儀」  
全日本運命学会相談役（池袋の母）  
豊山勝麗先生

有宵会研修旅行  
期日 十一月五日（火）・六日（水）  
行先 陸奥（みちのく）の古社寺巡り。心の安らぎを求めて（詳細は後日連絡）



事務局 伊藤璃香

編集後記

皆様方からのご意見、占例等をお待ちしております。まだまだ暑さも続きまますのでお身体をお大切に。  
佐藤

